

令和4年度福井県死因究明等推進協議会 議事概要

1. 日時

令和5年2月8日(水) 18:30～20:00

2. 場所

福井県国際交流会館2階第3会議室

3. 出席者

別添出席者名簿のとおり

4. 議事

(1) 委員選任および協議会設置要綱改正について

事務局から協議会設置要綱の改正、異動等による委員の変更、前会長異動に伴い会長選任の必要があることについて説明。会長は委員の互選により、兵頭委員を会長に選任。

(2) 死因究明等推進計画について

厚生労働省医政局医事課小林室長補佐から死因究明等推進計画の概要、厚生労働省における死因究明等推進に関する施策の実施状況について説明を行った。

(3) 本県における死因究明等に係る人材育成の取組みと課題について

事務局から死因究明等に関するデータ、本県の現状について説明を行った。その後、各委員から人材育成に関する取組みと課題について説明を行った。各委員の説明を受けて質疑応答や意見交換が行われた。課題に関する主な意見は以下のとおり。

○解剖・検案の件数が少なく、技能向上の機会が少ない。遠方に行かなくても知識・技能の習得ができるよう、福井県や北陸3県での研修会やオンライン研修会など、人材育成の取組みを考える必要がある。

○死因究明等の関係者とのネットワークの構築がされていない。A i画像を撮った場所で診断ができるネットワークの構築、共育・教育の充実、横断的な組織構築などを考えていく必要がある。

○過剰投与の見逃し防止や医療安全の観点から、院内死亡に対しても薬毒物検査を実施していくことが重要である。病院で検査をするためには、薬物検査キットを手配する方法を検討する必要がある。

○警察医の高齢化が進んでいるため、若い医師の確保・教育が必要である。

○死体の取扱数が増加傾向にある中、若手警察官の死体取扱経験が少なく、検視業務教養が急務である。検視業務従事者以外の警察官の意識向上が必要である。

(4) 福井県死因究明等推進協議会に関する情報の公開について

事務局から協議会資料および議事録の公開について趣旨、現状、今後の取扱いについて説明を行った。協議会資料および議事録を公開することについて、各委員からの異議はなく、承認された。